

管理運営計画について

新市民会館を整備するにあたり、これまでに「観音寺新市民会館建設基本構想」や「観音寺新市民会館建設基本計画」の中で、何をめざして施設を整備するのかという、ホール施設整備の「**基本理念**」が検討され、その基本理念を実現していくためには、新市民会館がどのような「**使命・役割**」を担っていく必要があるのかということをもとめてきました。

これらの検討は、従来の施設整備事業のように施設を建てることを最終目的とするのではなく施設を整備し、積極的に事業を行っていくことによって活動や交流などを創出し、それらが市民生活や市の将来に貢献していくことに繋げていくことを施設整備の最終目標とするという考えに基づいて行なわれてまいりました。

新市民会館を整備する目的

○旧市民会館が建設された当時は

多くの人が集える市民会館（ホール施設）という建物を建てる = 整備事業の目的

○新市民会館の整備では

基本理念を明確に定め、使命を果たす⇒豊かな市民生活への寄与 = 整備事業の目的

「観音寺新市民会館建設基本構想」や「観音寺新市民会館建設基本計画」では、以下のように「新市民会館整備の基本理念」や「新市民会館が担うべき使命・役割」をまとめています。

●新市民会館を整備するための基本理念（何をめざしてホール施設を整備するのか）

⇒音を観るまち“文化芸術クリエーションホール”をめざして

●基本理念の達成に向けて新市民会館が担うべき使命・役割

⇒1.西讃地区文化芸術の発信拠点となるための「西讃地区文化芸術拠点」

⇒2.身近に文化芸術を創造できる「文化芸術ふれあいの場」

⇒3.子どもたちの「文化芸術育ての場」

⇒4.市民が集い元気いっぱいの「文化交流の場」

⇒5.癒しと環境の「憩いの場」

管理運営計画の中では、このように定められた「基本理念」の達成をめざし、新市民会館の「使命・役割」を実現していくためには新市民会館が・・・

○どのような活動（事業）を行っていくことが求められるのか。

○どのような運営（開館日や開館時間、利用料金等）が求められるのか。

○どのような組織がどのような考え方（利用者対応等）に基づいて運営を行っていくことが求められるのか。

について検討を行いたいと思います。

新市民会館が担うべき使命・役割を基本として、管理運営計画の中で検討する内容を整理すると以下のようなポイントが挙げられます。

●管理運営計画の検討ポイント

【活動・事業計画】：基本理念や使命を達成するために何を行うとよいのか、何を実践するとよいのか。

- ⇒「発信拠点」となるにはどのような事業を行う必要があるのか？
- ⇒どこにむけて発信していくことをめざすのか？
- ⇒「文化芸術ふれあいの場」となるためにはどのような活動が考えられるのか？
- ⇒子どもたちの「文化芸術育ての場」となるためには、子どもたちにどのような活動を提供していくのか？
- ⇒「文化交流の場」をめざすための仕掛けをどうするのか？

【運営計画】：活動を行い、事業を展開していくためにはどのような運営にすればよいのか。

- ⇒「憩いの場」になるための運営とはどのようなものなのか？
- ⇒施設を利用する人にとって使いやすい施設にするためにはどのような運営や規則（利用料金、利用時間、休館日等）が求められるのか？

【組織計画】：活動や事業を行っていく運営組織をどのように考えるとよいのか

- ⇒活動や事業を支え・実行し、市民や利用者と接する運営者にはどのような組織が求められるのか？
- ⇒「憩いの場」になるためにはどのような対応（運営者の対応）をする必要があるのか？

このような検討により、最終的にまとめられた管理運営計画が新市民会館整備事業の基礎となって、新市民会館の設計、建築という期間だけではなく、施設の運用が開始された後も、将来に亘って引き継がれる「新市民会館の基軸」となっていくことをめざしています。

●新市民会館整備のための考え方イメージ

